

【 老年看護学 】

授業科目	高齢者看護学概論		対象学年・時期	1年次後期
			単位数	1
			時間数	15
講師名	看護師 ★		講義時間	14
			テスト時間	1
学習目標	1. 高齢者の身体的・精神的・社会的・変化を知りライフステージとその健康課題を理解する 2. 高齢者の保健・医療・福祉の場における課題を理解する 3. 高齢者の家族の抱える問題について理解する 4. 高齢者の尊厳について考え、老年観・人生観をもつことができる			
回	主 題	内 容		授業方法
1回	ライフサイクルからの 老年期の理解	1) 老年期の定義 2) 老年期の位置づけ 3) 老年期の発達課題		講義
2回	加齢に伴う変化	老人体験、疑似体験		講義・演習
3回	高齢者の多様性 高齢者と家族	1) 老年期の健康の捉え方 2) 生活習慣と健康 3) 生きがいと生活の満足感 1) 家族構成の変化 2) 家族形態の変化 3) 高齢者と家族の人間関係 4) 介護家族の課題		講義
4回	高齢社会の統計的動向 高齢社会における保健 医療福祉の動向	1) 高齢者とソーシャルサポート 2) 保健医療福祉システム ・制度の変遷・介護保険制度・地域包括ケアシステム 3) 在宅・施設につなげる看護（地域連携部門）		講義
5回	高齢者の保健医療福祉 施設における看護	1) 高齢者の施設サービスにおける看護 2) 高齢者の居宅サービスにおける看護		講義
6回	老年看護の特徴 老年看護における理論	1) 老年看護の基本（ICF,国連原則） 2) ノーマライゼーション 3) 自立支援とエンパワメント 1) サクセスフルエイジング 2) ストレングス		講義
7回	老年看護における倫理 的課題	1) 高齢者に対するスティグマと差別 2) エイジズム 3) 高齢者虐待 4) 安全確保と身体拘束 5) 権利擁護のための制度		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 老年看護学（医学書院）			
参考文献	老年看護学概論（南江堂）老年看護学概論・老年保健（メヂカルフレンド）			

授業科目	高齢者生活援助技術		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師		講義時間	29
			テスト時間	1 (45分)
学習目標	1. 加齢が生活に及ぼす影響について理解する 2. 高齢者の健康・自立を支えるための基礎的援助技術を習得する			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回	高齢者の生活機能を支える援助	日常生活を支える基本的活動 (1) 高齢者の生活アセスメントと看護 ・基本動作と環境のアセスメント		講義 演習
2回 3回	歩行・移動動作	(2) 歩行・移動動作に関する援助方法 ・転倒・廃用症候群		
4回 5回	食事・食生活	(1) 食生活のアセスメント (2) 高齢者の食生活への援助方法 ・食事環境・摂食嚥下リハビリテーション ・食前・中・後のケア（嚥下を促す方法） ・口腔ケア（義歯、舌苔のケア）		
6回 7回	排泄	(1) 排泄のアセスメント 排泄リズム、排泄動作、排尿障害、排便障害 (2) 排泄のための自助具の援助方法 ・ポータブルトイレを用いた援助		講義 演習
8回 9回	清潔	(1) 清潔行為・更衣動作のセルフケア能力のアセスメント (2) 高齢者の清潔に関する援助方法 ・入浴介助・フットケア・耳のケア		講義 演習
10回 11回	生活リズム	(1) 生活リズムのアセスメント (2) 高齢者の生活リズムを整える援助方法 ・昼間のケア・夜間のケア（睡眠薬の使用方法）		講義 演習
12回 13回 14回	コミュニケーション	(1) コミュニケーション能力のアセスメント (2) 高齢者とのコミュニケーションとかわり方、状態・状況に応じたコミュニケーションの方法 ・聴覚障害（老人性難聴）・失語症・構音障害 ・視覚障害		講義 演習
15回	8) セクシュアリティ	(1) 高齢者におけるセクシュアリティ		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護講座 専門Ⅱ 老年看護学 (医学書院) 系統看護講座 専門Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 (医学書院)			
参考文献				

授業科目	健康障害のある高齢者の看護		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師		講義時間	29
			テスト時間	1 (45分)
学習目標	1. 高齢者の健康障害の特徴と援助方法を理解する。 2. 高齢者に多い疾患の看護を理解する。 3. 治療を受ける高齢者の看護を理解する。 4. 高齢者の終末期の看護を理解する。 5. 高齢者を介護する家族への看護を理解する。			
回数	主題	授業計画・内容		授業方法
1回	高齢者の健康障害の特徴	1) 健康逸脱からの回復を促す看護		講義・演習
2回	高齢者に特徴的な症候・疾患 障害と看護	2) 症状のアセスメントと看護		
3回		(1)低栄養 (2) 脱水症 (3)瘡痒症 (4)廃用性症候群 (5)褥瘡		
4回	身体疾患のある高齢者の看護	(1)パーキンソン症候群 (2)肺炎		
5回		(3)感染症 (4)骨粗鬆症・骨折		
6回	認知機能障害のある高齢者の 看護	(1)せん妄		
7回		(2)うつ病 (3)認知症		
8回	治療を受ける高齢者の看護	3) 薬物療法		
9回		(1)加齢に伴う薬物動態の変化 (2)服薬管理とリスク		
		4) 手術療法		
10回	(1)手術療法を受ける高齢者の援助 5) リハビリテーション (1)リハビリテーションを受ける高齢者の看護			
11回	受療形態に応じた高齢者の看護	6) 入院治療を受ける高齢者の看護 7) 地域連携における退院時の看護		
12回	高齢者の終末期の看護	8) 高齢者の死に関わる権利の擁護		
13回		(1)アドバンスケアプランニング (2)リビングウィル(3)エンドオブライフケア 9) 終末期看護の実践 (1)身体兆候 (2)苦痛の緩和と合併症予防 (3)臨死期の評価 (4)家族への看護		
14回	治療・介護を必要とする高齢者 を含む家族の看護	10) 高齢者を介護する家族への看護		
15回		(1)要介護高齢者と家族の役割 (2)介護者の健康と介護力		
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護講座 専門Ⅱ 老年看護学 (医学書院) 系統看護講座 専門Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 (医学書院)			
参考文献				

授業科目	高齢者看護学演習		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師 ★		講義時間	30
			テスト時間	課題評価
学習目標	1. 高齢者の特徴を踏まえて事例を通して看護過程が展開できる 2. 高齢者に対する基本的な援助技術を理解する 3. 社会資源を活用した看護の展開を理解する			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回	1. 脳梗塞で入院した高齢者の特徴を理解する 2. 脳梗塞で入院した高齢者に必要な治療・看護を理解する	1) 事例を理解するために必要な知識 ・情報で注目すべきポイントの確認 ・情報を分析・解釈するために必要な知識		講義 DVD 視聴
2回	3. 事例による看護過程の展開を行う	1) 事例の理解 ・病態関連図 ・情報の収集		講義 演習
3回～ 5回		1) 事例の理解 ・情報の整理・分析		演習 講義
6回		1) 事例に応じた看護援助の方法を考える 2) 看護問題の明確化 3) 看護問題・共同問題の抽出		演習 講義
7回～ 9回		1) 事例に応じた看護援助の方法を考える ・看護計画立案		演習 講義
10回		発表・まとめ 1) 事例に応じた看護援助の方法を考える ・立案した看護計画 ・期待される結果、看護介入の内容		演習 講義
11回 12回	4. 事例患者に必要な社会資源の活用・退院支援について理解する	1) 社会資源の活用について ・地域の社会資源の実態 ・事例患者の社会資源、退院に向けた支援についてカンファレンスを通して考える		講義 演習 (グループ)
13回		1) 課題発表 　　まとめ		演習 (グループ)
14回	5. 高齢者に対する基本的な技術を理解する	ロールプレイングで実施する看護実践場面の設定と計画		演習 (グループ)
15回		対象に応じた援助の実施・評価 看護実践ロールプレイング発表		看護実践演習 実習室
評価方法	個人・グループワーク 課題 演習参加状況			
テキスト	1) 系統看護講座 専門Ⅱ 老年看護学 医学書院 2) 系統看護講座 専門Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 医学書院 3) ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく看護実践アセスメント第3版			
参考文献	1) 根拠がわかる老年看護技術 2) 介護保険 わかりやすい利用の手引き (高崎市)			